

産別紹介⑥  
生保労連

生保労連中央副執行委  
員長 谷口 典央



全国生命保険労働組  
合連合会（生保労連）  
は1969年10月に結



成された生保産業唯一 実現に向けて加盟組合 シティ&インクルーシ  
の産別労働組合であ と協力し、取組みを進 ョンに関する取組み」 活設計教育に関する取  
り、19組合(うちオプザ めていきます。 等があります。 組み(寄付講座など) 024年10月には労使  
ーバー1組合含む)が 特に、春闘において 各取組みについては うした地域社会への貢 献活動について、「U  
加盟する組織です。 は、総合的な労働条件 全組合と確認のうえ認 識を統一し、生保協会 &Uネットワーク(U ム」を開催しました。  
組合員数は23万74 の改善・向上をめざし との交渉に臨みます。 闘争中は各組合の交渉 シド ユニオンの略) 域社会に貢献していく  
00人で、女性組合員 「総合生活改善闘争」 状況をはじめ、様々な を各地で開催し、消費 とともに、生保産業で  
数の比率が89%と非常 を推進しています。 働く仲間が「社会に誇  
る仕事」として自信  
と誇りを持ち、我々の  
活動が世の中に広く正  
しく認知されること  
で、生保産業・営業職  
員の社会的プレゼンス  
の向上を実現していき  
たいと考えています。

2019年8月に10 年後を見据えた運動の 方向性として、「チャ  
レンジビジョン203  
0(生保産業に関わる  
仲間が広く結集し、魅  
力ある産業・労働条件  
づくりや持続可能な社  
会づくりへの積極果敢  
なチャレンジ、各組合  
への親身な支援・サポ  
ートを通じて存在感を  
高め、組合員や社会に  
大きく貢献している組  
織)」を確認し、その  
た取組み」「ダイバー  
安全を見守る運動」「生  
使命達成に向けた労使  
共同宣言を採択し、2  
024年10月には労使  
フォーラムとして「地  
域社会 共創フォーラ  
この共同宣言を實踐  
していく中で、より地  
域社会に貢献していく  
ととともに、生保産業で  
働く仲間が「社会に誇  
る仕事」として自信  
と誇りを持ち、我々の  
活動が世の中に広く正  
しく認知されること  
で、生保産業・営業職  
員の社会的プレゼンス  
の向上を実現していき  
たいと考えています。

## 生保産業・営業職員の 社会的プレゼンス向上を

0(生保産業に関わる  
仲間が広く結集し、魅  
力ある産業・労働条件  
づくりや持続可能な社  
会づくりへの積極果敢  
なチャレンジ、各組合  
への親身な支援・サポ  
ートを通じて存在感を  
高め、組合員や社会に  
大きく貢献している組  
織)」を確認し、その  
た取組み」「ダイバー  
安全を見守る運動」「生  
使命達成に向けた労使  
共同宣言を採択し、2  
024年10月には労使  
フォーラムとして「地  
域社会 共創フォーラ  
この共同宣言を實踐  
していく中で、より地  
域社会に貢献していく  
ととともに、生保産業で  
働く仲間が「社会に誇  
る仕事」として自信  
と誇りを持ち、我々の  
活動が世の中に広く正  
しく認知されること  
で、生保産業・営業職  
員の社会的プレゼンス  
の向上を実現していき  
たいと考えています。

体的には、全組合統一 情報をタイムリーに共 者の代表である消費生  
の「賃金・制度関係の 有します。また、お客 活相談員の方と組合員  
取組み」、各加盟組合 さまとともに発展する との意見交換を行って います。  
の課題認識に応じて主 営業職員体制をめざす います。  
体的に取り組む「経営 取組みとして「生保産 また、生保協会との  
の健全性向上の取組 業・営業職員の社会的 様々な協議の中で、2  
理解の拡大」に力を入 024年1月第415 回労使協議会におい  
ています。  
具体的には「地域の て、生保産業の社会的  
安全を見守る運動」「生 使命達成に向けた労使  
共同宣言を採択し、2  
024年10月には労使  
フォーラムとして「地  
域社会 共創フォーラ  
この共同宣言を實踐  
していく中で、より地  
域社会に貢献していく  
ととともに、生保産業で  
働く仲間が「社会に誇  
る仕事」として自信  
と誇りを持ち、我々の  
活動が世の中に広く正  
しく認知されること  
で、生保産業・営業職  
員の社会的プレゼンス  
の向上を実現していき  
たいと考えています。



生保労連HP